

教員のための山の学習 ご報告

参加者：7名、職員2名

SEP
08



体験は楽し!
学ぶも楽し!
仲間と共有すれば、
なお楽し!



休日にかかわらず、7名の教員が参加され、熱心に受講されました。山の学習が初めての方も、何度も指導者として来られている方も、ときどきわくわくの気持ちで活動し、体験活動のすばらしさを実感しました。

直接自然体験をすることが、子どもたちの成長にいい影響を与えることを講話で聞いた上で、自然の家のプログラムである「ウォークラリー」「ネイチャーゲーム」「暗夜行路」を児童の立場で体験しました。

子どもたちにとって難しいのはどんなところなのか、大切なポイントは何なのか、などを実体験でつかむとともに、ネイチャーゲームなどで五感を使って自然を体感する大切さも理解できたようです。何よりも、どの活動においてもペアやグループで活動したので、感じたことや気づいたことをシェアしながらできたことが、安心感や楽しさにつながっていることを実感できたようです。





感想

- ・ 教員としての立場で実際に体験できたことで、子どもたちに楽しさを伝えられることができる研修でした。楽しくのびのびと学べる会がとても良かったです。
- ・ 初めての体験を通して、学校だったらここまでたくさんを感じることができなかったと思った。まずは楽しみ、感じ、気づき、学び、次へ、と学びのサイクルを大切にしたいと思った。活動を終えた後では、活動を共にした仲間と仲良くなれたのも達成感の1つだと感じた。
- ・ 自分の目的であった、①童心に返って心から楽しむ ②活動の目的を考えながら取り組むことができたと思います。また②の目的に関しては子どもたち自身に考えさせることも大事ななと思いました。
- ・ 2学期に入り、少し体が慣れた時期に教員のための山の学習に参加できて良かったです。県内の先生方と交流ができ、それぞれのアクティビティを共に楽しむ事ができました。たまにはデジタルデトックスをする事が大事だと自分自身が感じているため、今日のような自然と触れ合える時間はこれからも大切にしていきたいと思いました。
- ・ 職場だけでは得られない満足感が得られ、参加して良かったです。ネイチャーゲームで自然にも親しくなり、暗夜行路ではチームワークが感じられました。
- ・ 体験を積み重ねるとにより、経験や学びに繋がると、自己肯定感が高まっていくことを感じました。特に、ネイチャーゲームや暗夜行路は、自然を感じるだけでなく、チームでの協力を感じられる活動だと思います。山の学習では充実した活動になるように教師側も何を育てたいか明確にしていかなければならないなと感じました。